

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2011年版） | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	上京区聚楽町計画新築工事	階数	地上8F
建設地	京都市上京区聚楽町851番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、第1種住居地域、25m高層	平均居住人員	188人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 0.0	評価の実施日	1213/5/10
敷地面積	1,197㎡	作成者	福田 博之
建築面積	782㎡	確認日	1213/5/15
延床面積	3,941㎡	確認者	杉尾 道朗



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 72%  
③上記+②以外の 72%  
④上記+ 72%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
敷地の東側に「歴史遺産美観地区」に位置し、歴史的町並みの形成のため瓦屋根の伝統的な形態の門・塀を設置し、道路際は緑化を努めた。 建物に関しては美観地区から離れた位置に設置し、デザインに関しても邸宅を意識した高級感あるデザインとした。	0	
<b>Q1 室内環境</b> 室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 劣化対策等級3など、耐久性に優れた建物としている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 道路沿いに緑地を敷き、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋上に太陽光発電設備を設置した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> P/C部材を極力採用し、型枠等の使用材料の抑制に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ゴミ置場を設置し、廃棄物処負荷抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される